

「市川三郷町立小中学校適正規模・配置等検討委員会」地区説明会

次 第

1 開 会

2 教 育 長 あ い さ つ

3 説 明

(1) 検討委員会のこれまでの経過報告について

(2) 検討委員会の今後の日程について

4 質 疑 応 答

5 そ の 他

6 閉 会

添付資料

検討委員会の経過報告 (P1～P2)

児童・生徒数の推移・見込 (P3)

アンケート結果（抜粋） (P4～P5)

(1)「市川三郷町立小中学校適正規模・配置等検討委員会」設置とこれまでの経過について

① 検討委員会の設置理由及び諮問の内容について

本町の小・中学校は現在10校あるが、人口減少、少子化の影響等により児童・生徒数は減少し続けており、この傾向は継続していくことが予想される状況のなかで、本町の子どもたちにとって、望ましい教育環境や学校教育のあり方を実施していくための学校の規模や配置について教育委員会の諮問に基づき検討してもらうため設置し、委員18名で構成（有識者、小学校所在地区長、学校関係者、保育所関係者等）

諮問の内容

- 1 市川三郷町立小中学校の適正規模・配置に関する基本的な考え方と具体的な方策について
- 2 市川三郷町立小中学校の通学区域の基本的な考え方と具体的な方策について
- 3 そのほか、上記1及び2に関連して必要な事項に関する事

② 現在までの検討委員会開催について

第1回 令和6年5月28日

- ・委員委嘱及び委員会設置の目的の説明
- ・町内小中学校の現状について
- ・町内小中学校児童・生徒の推移及び見込について

第2回 令和6年7月23日

- ・国・県における適正規模の考え方について
- ・本町における適正規模を検討する際の課題について

9月 アンケートの実施 対象：小学校5・6年の児童・中学生及び保護者

第3回 令和6年9月24日

- ・本町における適正規模の考え方について

第4回 令和6年11月20日

- ・適正規模の考え方についての確認
- ・適正規模に基づく適正配置の（案）について

③ 本町における小中学校の適正規模及び適正配置（案）について

・「小中学校の適正規模について」

学校生活においては、児童生徒が多様な考えに触れたり、協力し合ったり、切磋琢磨しあうことで、思考力や問題解決能力、社会性や規範意識を身に付けることが重要となる。そのためには、一定の集団規模を確保することが必要という考えのもとに、小中学校の適正規模については次のようにすることが望ましい。

1 学級規模について

- ・複式学級の解消（小学校）が必要である。
- ・集団活動が実施できる学級規模が望ましい。
- ・そのため、1学級20人程度以上の学級規模が望ましい。

2 各学年の学級数について

- ・クラス替えができる規模（1学年2学級以上）が望ましい。

・「適正配置について」

適正規模に基づき適正配置を実施していくためには、学校を統合することにより、適正規模を確保することが望ましい。

1 小学校の統合について

6校の小学校を3校に統合することが望ましい。

- (案)

┌	上野小学校・大塚小学校の統合
	市川小学校・市川南小学校・市川東小学校の統合
	六郷小学校は通学距離を考慮し現状のまま

2 中学校の統合について

4校の中学校を1校に統合する(案)と、2校に統合する(案)を検討。

(案1) 三珠中学校・市川中学校・市川南中学校・六郷中学校の統合

(案2) 三珠中学校・市川中学校・市川南中学校の統合

六郷中学校は通学距離を考慮し現状のまま

④ 検討委員会での主な質疑、意見の抜粋

- ・子どもたちが増えていくという見込みであれば残していくことが必要だと思うが、減少が見込まれる中ではこの小学校の統合(案)で良いのではないか。
- ・中学校から高校へ進学する際に少人数の学校からいきなり大人数の所へ行くとギャップが非常に大きく戸惑うのではないか。
- ・この方向性で良いと思う。特に中学校は、教育活動の幅や人間関係、高校進学といったことを考えると、幅広い人間関係を構築していくことが必要になっていくと思う。
- ・中学校は1校で良いと思う。
- ・統合の(案)には賛成だが、町や地域の発展についても同時に考えてもらいたい。
- ・統合し、人数が増えることで心の負担が大きくなる子どもも出てくると思う。統合後1・2年はスクールカウンセラーを配置するなど手厚い施策を行ってもらいたい。
- ・六郷小学校は統合しない(案)だが、例えば数年後に児童数が急激に減少した場合は再考する考えはあるのか。(回答：この案を基にしていく方針であるが、複式学級が生じる場合は改めて判断していくことになる。)
- ・教育的な観点からだけで検討していくのか、財政的な問題もある程度考慮する必要があるのか、また、統合により必要となる経費について、示してもらいたい。(回答：まず、第1に本町の子どもたちにとって望ましい教育環境や質の高い学校教育ということに主眼をおいて検討していきたい。経費等については、可能な限り示していきたいと考えている。)

(2) 検討委員会の今後の日程について

- ・令和7年2月12日開催の第5回検討委員会において、適正配置(案)についてさらに、協議、検討し適正配置について決定。
- ・令和6年度末に答申を教育委員会に提出していただく予定。
- ・その答申に基づいて、教育委員会としての方針(案)を策定。
- ・教育委員会の方針(案)に基づいて、最終的に町の方針を決定。

令和6年度管内児童・生徒数・令和7～12年度 管内児童・生徒【見込】数

(令和6年5月1日現在)

(小学校)

学校名	学年	R6.5.1現在見込						R6.5.1現在見込							
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
上野小	小1	20	21	16	25	19	10	12							
	小2	32	20	21	16	25	19	10							
	小3	16	32	20	21	16	25	19							
	小4	27	16	32	20	21	16	25							
	小5	23	27	16	32	20	21	16							
	小6	12	23	27	16	32	20	21							
	計	130	139	132	130	133	111	103							
大塚小	小1	8	8	11	7	6	5	4							
	小2	7	8	8	11	7	6	5							
	小3	5	7	8	8	11	7	6							
	小4	3	5	7	8	8	11	7							
	小5	3	3	5	7	8	8	11							
	小6	6	3	3	5	7	8	8							
	計	32	34	42	46	47	45	41							
市川小	小1	40	34	43	46	43	39	27							
	小2	55	40	34	43	46	43	39							
	小3	45	55	40	34	43	46	43							
	小4	61	45	55	40	34	43	46							
	小5	53	61	45	55	40	34	43							
	小6	54	53	61	45	55	40	34							
	計	308	288	278	263	261	245	232							
市川南小	小1	8	4	4	10	4	5	0							
	小2	8	8	4	4	10	4	5							
	小3	6	8	8	4	4	10	4							
	小4	6	6	8	8	4	4	10							
	小5	6	6	6	8	8	4	4							
	小6	6	6	6	6	8	8	4							
	計	40	38	36	40	38	35	27							
市川東小	小1	2	0	1	0	1	2	0							
	小2	2	2	0	1	0	1	2							
	小3	0	2	2	0	1	0	1							
	小4	2	0	2	2	0	1	0							
	小5	2	2	0	2	2	0	1							
	小6	1	2	2	0	2	2	0							
	計	9	8	7	5	6	6	4							
六郷小	小1	4	13	10	7	5	4	3							
	小2	10	4	13	10	7	5	4							
	小3	16	10	4	13	10	7	5							
	小4	19	16	10	4	13	10	7							
	小5	15	19	16	10	4	13	10							
	小6	17	15	19	16	10	4	13							
	計	81	77	72	60	49	43	42							

(中学校)

学校名	学年	R6.5.1現在見込						R6.5.1現在見込							
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
三珠中	中1	23	18	26	30	21	39	28							
	中2	15	23	18	26	30	21	39							
	中3	27	15	23	18	26	30	21							
	計	65	56	67	74	77	90	88							
市川中	中1	37	55	55	63	45	57	42							
	中2	58	37	55	55	63	45	57							
	中3	43	58	37	55	55	63	45							
	計	138	150	147	173	163	165	144							
市川南中	中1	6	6	6	6	6	8	8							
	中2	3	6	6	6	6	6	8							
	中3	12	3	6	6	6	6	6							
	計	21	15	18	18	18	20	22							
六郷中	中1	19	17	15	19	16	10	4							
	中2	24	19	17	15	19	16	10							
	中3	13	24	19	17	15	19	16							
	計	56	60	51	51	50	45	30							

※令和6年度の児童生徒数は5月1日現在の人数
令和7年度からの見込数は住民基本台帳による



← 紫と青の色付きセルは複式学級の対象となる学年
(令和7年度以降は見込)

『複式学級』とは

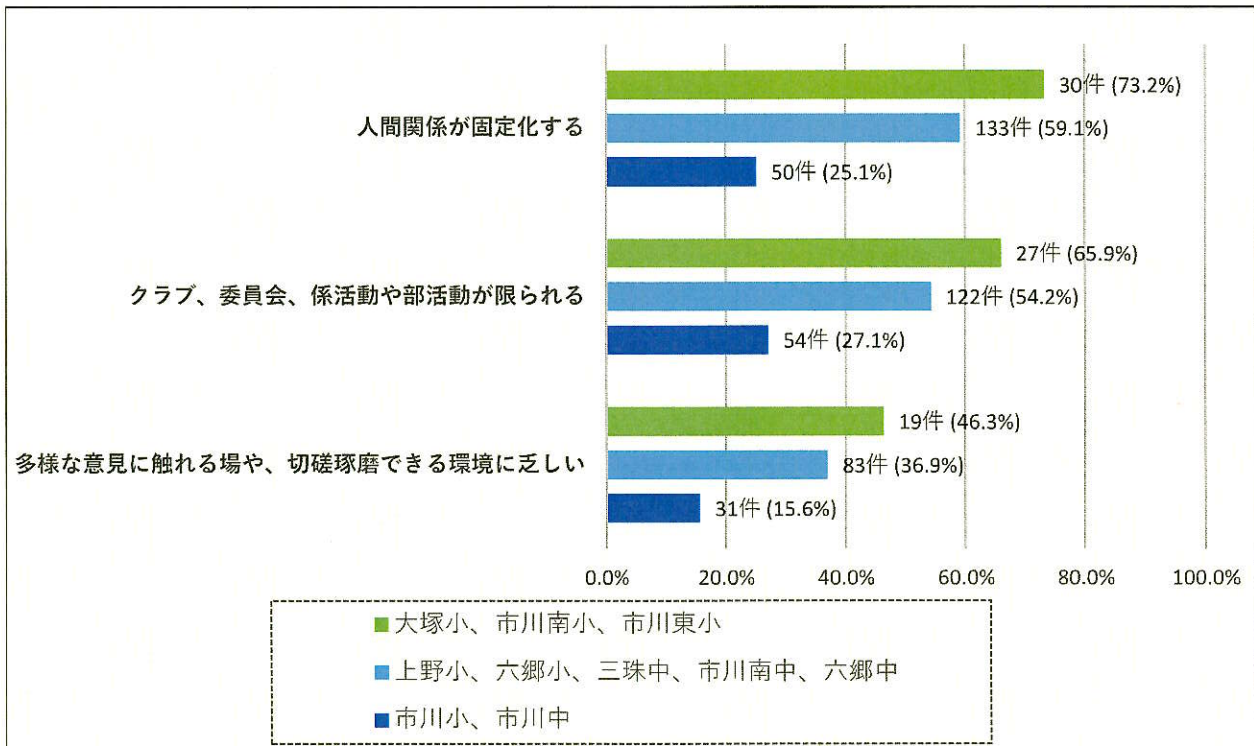
- ・児童数が少ないため、2学年が一緒に授業を行う
- ・山梨県の複式学級の対象となる基準
→となりあう学年の児童数が12人以下の場合
(小学校1年、中学校は対象外)

※1つの複式学級について、県からの教員配置は1名のみとなる。
このため、町では、町単独講師を配置し、複式学級の解消に努めてきている。

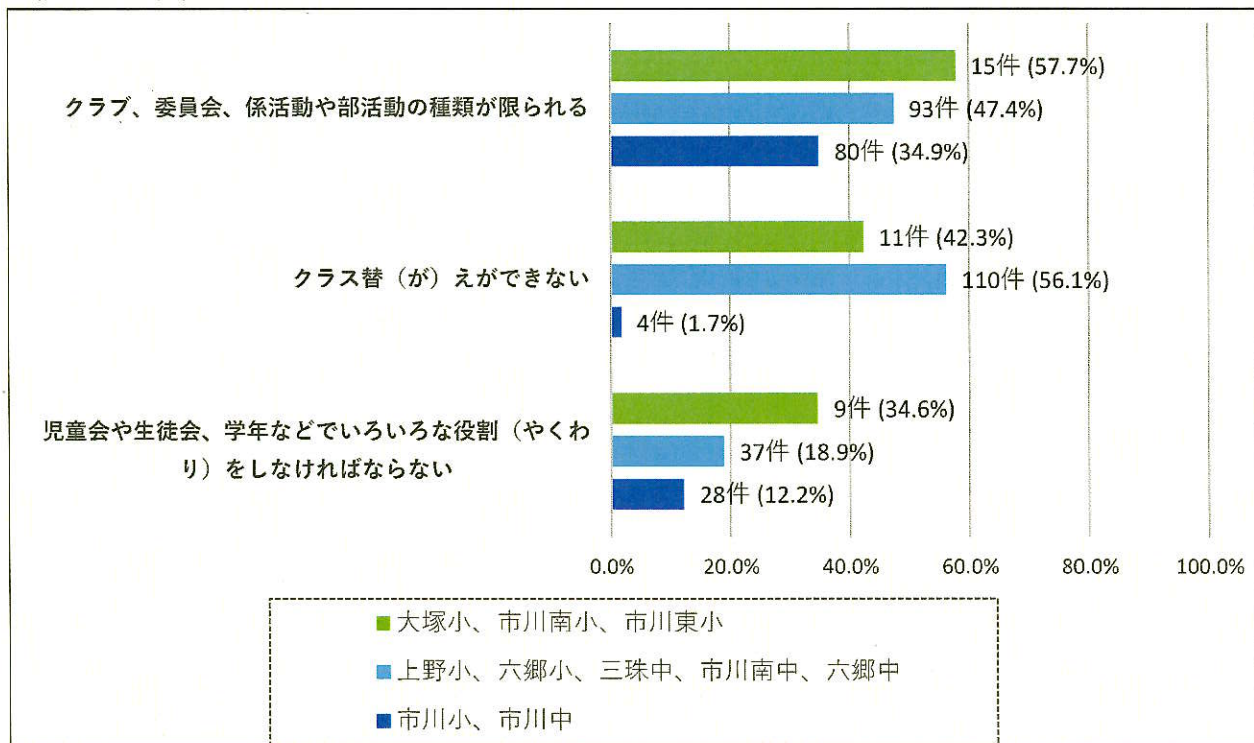
アンケート調査結果主なもの

○学校の課題点に対する質問

(保護者)



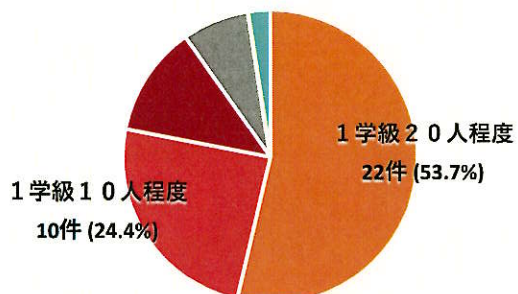
(児童・生徒)



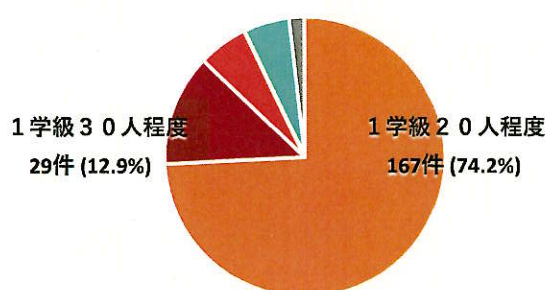
○学級の人数に対する質問

(保護者)

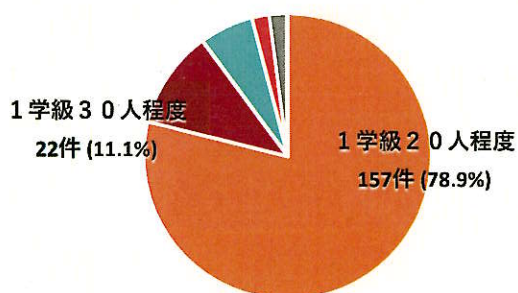
『大塚小、市川南小、市川東小』



『上野小、六郷小、三珠中、市川南中、六郷中』

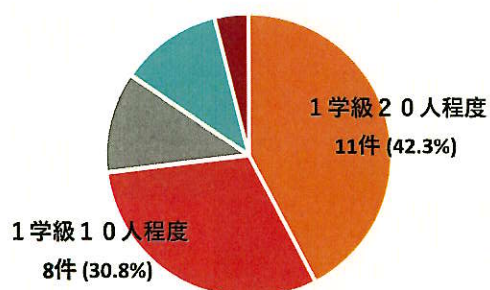


『市川小、市川中』

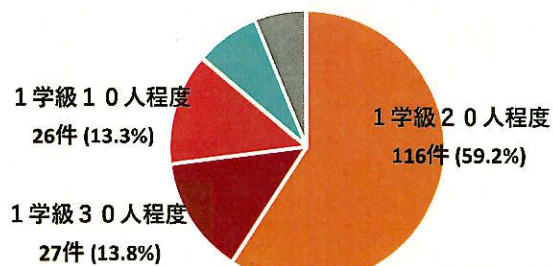


(児童・生徒)

『大塚小、市川南小、市川東小』



『上野小、六郷小、三珠中、市川南中、六郷中』



『市川小、市川中』

